

第43回全国高等学校総合文化祭 受賞報告会

第43回全国高等学校総合文化祭「2019 さが総文」が、7月27日（土）～8月1日（木）の日程で佐賀県内で開催されました。この文化祭の各部門において、見事に上位入賞を果たした県内の高校生が、9月5日（木）に県庁を訪れ、受賞の報告と喜びを語ってくれました。

報告会の様子



受賞
おめでとうございます

放送部門（朗読） 優秀賞
県立長崎西高等学校放送部
やまくち せい
山口 晴 さん（3年）

放送部門（アナウンス） 優秀賞
県立大村高等学校放送部
やまくち ゆうだい
山口 雄大 さん（2年）

マーチング&パトントワリング部門 講評者特別賞
県立西陵高等学校吹奏楽部
あしかわ ゆり
部長 有川 由梨 さん（3年）



「大村桜」を取材し、大村市を他県の方々にアピールする原稿を作成しました。本番では自分らしいアナウンスができたと思います。まだ未熟な面もありますので、もっと人の心を掴むようなアナウンスができるよう、今後も努力していきます。



本番では、池松教育長にも会場まで足を運んでいただきました。多くの方々の支えがあり、最高の賞をいただくことができました。この賞の名に恥じぬよう、感謝の気持ちを忘れず、皆様にこれからも私たちの音楽を届けていきます。

長崎県出身の作家林京子さんの小説「空き缶」を朗読しました。地元長崎の原爆の悲惨さや平和の尊さを伝えられたと思います。アナウンサーになる夢に向けて、部活動で学んだことを生かしながら、放送活動を続けていきます。



教育長あいさつ（一部抜粋）



第43回全国高等学校総合文化祭「2019さが総文」における今回の受賞、誠にありがとうございます。「さが総文祭」には、県内から19部門に、のべ83校350名の生徒の皆さんが参加し、それぞれに作品発表、舞台発表等を行いました。中でも特に優秀な成績を収められた皆さんに重ねてお祝いを申し上げます。これも、日頃から目標に向かって努力を積み重ねてきたことと、顧問の先生方の指導の賜物だと思います。皆さん方の活躍は、同じ県内で頑張っている高校生の皆さんに大変な勇気を与え、後輩の皆さんには非常によい目標となり、「自分たちもこれに続こう！」と奮い立たせてくれていることと思います。会場となった佐賀県は、同じ九州、それもお隣の県ということもあり、多くの保護者の皆さん、ご友人、長崎県の方々をご覧になったと思います。

そのような中で、本県代表の生徒の皆さんのすばらしい演技と発表で、長崎県の高校生の文化力を全国の高校生に示してくれたものと思います。

本当に皆さん方の活躍を嬉しく思いますし、皆さん方が次のステージで活躍していただくことをお祈りして、お祝いのご挨拶とします。本当におめでとうございます。



「2019さが総文祭」における3人の発表の様子を拝見しました。躍動感に溢れ、一糸乱れぬマーチングのフォーメーション構成と確かな演奏力。聞き手を小説の世界に引き込む表現豊かな朗読。そして、事実を確実に伝え、場の情景や雰囲気を感じさせるアナウンス力。いずれも見事な表現力に感服いたしました。

3人のこれからのますますの活躍を期待するとともに、これに刺激を受けた後輩の高校生の皆さんが発奮し、本県の高校生の芸術文化活動がさらに発展しますことを祈念いたします。

令和元年9月9日
長崎県教育委員会
教育長 池松 誠二